

レジュメ原稿様式

「グループホームあいみの家の生活」

○発表者名 社会福祉法人祥和会 あいみの家 松本愛子  
社会福祉法人祥和会 あいみの家 米原勝雄

1. 問題提起

あいみの家は平成24年4月に祥和会で2つ目に設置されたグループホームである。

入居者の方は日中に法人内の事業所に通われるケースが多く、その為送迎等で場所や建物を知っている職員はいるものの、グループホーム自体の規模は小さいため、あいみの家に勤務したことのある職員の数は限られており、法人内に勤務する職員であっても知る機会はありませんと考えられる。

2. 目的

あいみの家の事を少し知ってもらう。  
現状の報告。

3. 方法

○あいみの家について知ってほしいことをまとめる。

- ・平成24年4月開設。所在地は南部町天萬。
- ・住まいについて（居室：Ⅰ棟5室、Ⅱ棟6室）
- ・入居者の紹介（男女比率、障害支援区分）
- ・職員の紹介（10名、交代勤務、業務内容）
- ・入居者の方の一日の流れ
- ・レクリエーション活動について

○パワーポイント等資料を引継ぎしながら協力して作成する。

○職員に内容を確認してもらう。

○身近にあった出来事（地震）を取り上げることにする。

- ・R8.16に起きた地震について  
施設の建物の被害  
貯水タンク内の水の濁りにより水道水が通常のように使えなくなる

4. 成果・課題

○R8.1.6に起きた地震時の対応について振り返りを行う事ができた。

○普段と異なる状況で起こりうる入居者の方の不安等による行動の一面を経験し、もっと大きな災害に対する心構えや備えを考えていくきっかけとなった。

○毎年2回行っている避難訓練等を活用し、入居者の方・職員で自然災害の危機回避能力を高めていく必要性を感じた。

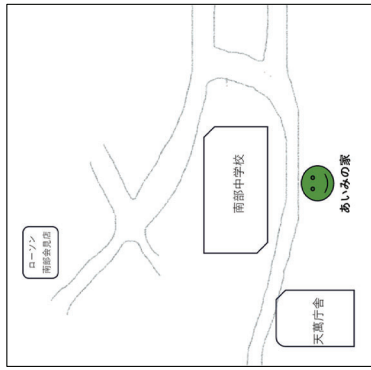
# グループホーム あいみの家の生活

松本愛子  
米原勝雄

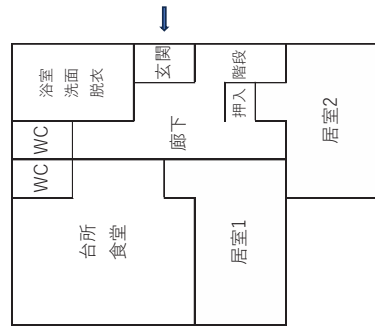
住まい

平成24年 4月 開設

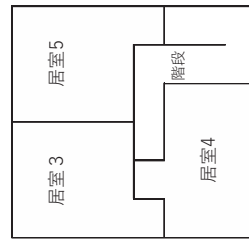
あいみの家



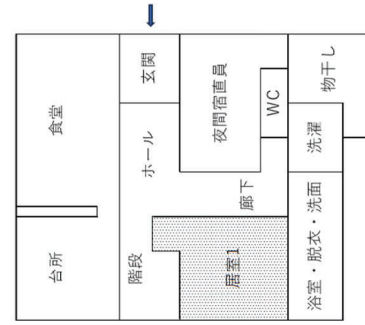
I棟 (奥側)  
定員5名



あいみの家I



II棟 (道側)  
定員6名



あいみの家II

## 利用者さんの紹介 (定員11名)

現在の入居者 男 8名 女 2名 合計10名

50代 4名	60代 4名	70代 1名	80代 1名
-----------	-----------	-----------	-----------

平均年齢 64.5歳

障がい支援区分 区分 なし ~ 6

なし 1名	1 2名	2 2名	3 2名	4 3名	5 1名	6 1名
----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

平均区分 3.3

## 職員の紹介

- ▶ 管理者兼サジ管兼生活支援員 1名
- ▶ 生活支援員兼世話人 1名
- ▶ 世話人 4名
- ▶ 夜間宿直員 4名

計10名

あいみの家

## あいみの家 1日の流れ

—平日—

6:00 起床

7:00 朝食

8:20 各作業所へ

16:00、16:30 帰宅

～入浴・洗濯など～

17:45 夕食

20:00 就寝へ

—土日祝祭日—

6:00 起床

7:00 朝食

～自由時間 Lawsonへ買い物～

12:00 昼食

～入浴・洗濯など～

17:45 夕食

20:00 就寝へ

## レクリエーション活動



R7.2.15 花回廊



R8.5.4 鳥取県立美術館

その他レク ⇒ 初詣、節分の豆まき、神社祭り

誕生月レク ⇒ 仕出し弁当(夕食)? 外食(昼食)?

## R8.1.6 地震発生

あいみの家

### —建物被害—

- Ⅱ棟1階の壁紙が垂直に破れる。



- トイレが使えない？入浴・洗濯は？

⇒浴槽に水を溜めるも断水には至らず。

- 調理が困難になる。

⇒調理中止。朝はそのまま食べるものを中心に。夕食はJOCA弁当。

- 洗顔・口腔ケアは？

⇒個別対応。見守り。

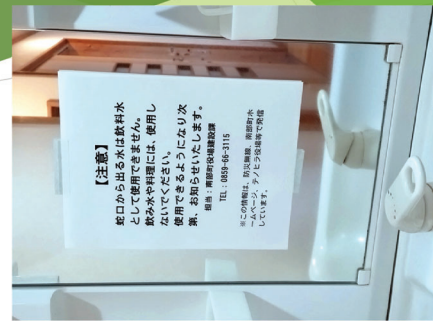


- 飲料水と使用していた水道水が濁って使えない—

- トイレが使えない？入浴・洗濯は？

○調理が困難になる。

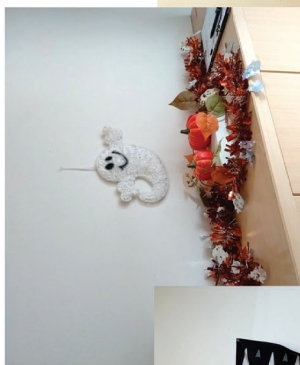
- 洗顔・口腔ケアは？



お正月



端午の節句



ハロウワイン



クリスマス

## 地震直後の利用者さんへの影響は？

利用者さんの中で、一日の流れ（いつものルーティン）が変化して、不安から不穏状態になった方があり、その都度職員が対応した。

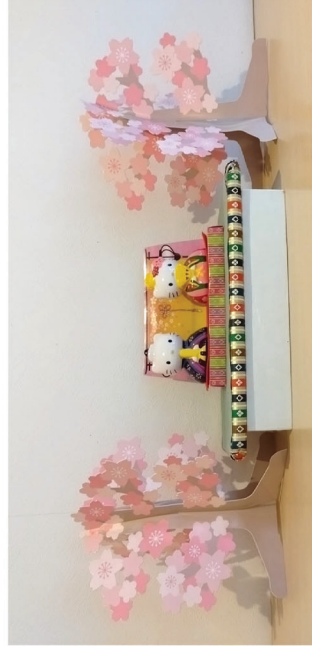
水が濁っているにもかかわらず、洗濯や入浴を自己判断で行った方がいた。

## 今回の地震で見えてきた課題は？

今回の地震では「飲料水」の問題だけでしたが、もっと大きな災害（停電・断水・建物損壊）が生じた場合を考えた時・・・  
・・・職員が落ち着いて支援を継続できるだろうか・・・  
・・・もしもの備えの活用や訓練したことの実践ができるだろうか・・・

自分の役割は何か、どんな行動をする必要があるのかを再考。

利用者さん、職員で共同して自然災害の危機回避能力を高める。



ご清聴ありがとうございました。